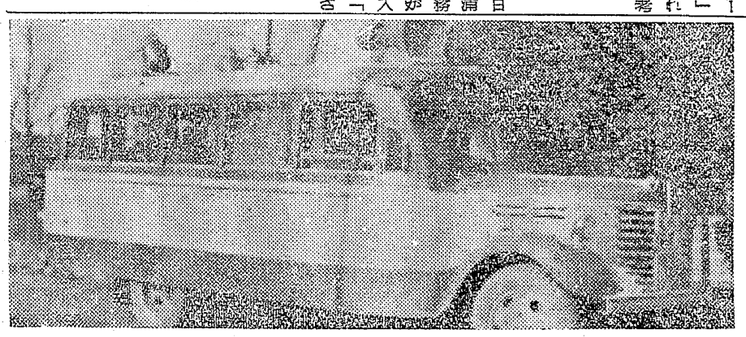
ニュース・カーの愛称募集
「はたかぜ」と決定
應募七百篇の中から嚴選

ニュース・カーの愛称募集が発表されるや果然大変な反響を呼び、締切日までに、六八一篇が寄つた。「みどり」「うぐいす」「やまびき」等優雅やさしいのから、「鵬丸」「天声」「富士天馬」「発破」などゴツイの、さては「ファースト・ユニオン」「サマチャン」「エランド・ボーイ」等々西洋れいのめしたのなど色とりどりで、審査には頭を痛めたが

一、親しみ深い
二、わかりやすく覚えやすい
三、組合を意識させる

以上三つを基準にして去月廿八日本支部敵宣部長それに本部から渉川書記長、久保田次長、津留総務、平島調査両部長、柳嶋監事長らが加わつて慎重審査に当つた結果、入選一席に海務支部松井繁敏氏の「はたかぜ」以下次のように決定された。

入選一席
はたかぜ　海務支部　松井繁敏
△佳作
やくしん号　三川支部　藤野　清
鉱鳩号　四山支部　西坂建三



はたかぜを選んだ理由

目下「はたかぜ」を選んだ理由について審査委員長兼の本部渉外敵宣部長は

旅やよび風は何等かの意味で人々の生活に入りこみ、親しまれる対象であるし、しかも組合旗は組合のシンボルとしてあらゆる場合に先頭にたち、自由、独立、平等、平和等の問題は常に旗印として掲げられ組合と旗の運動は切りはなせないものがある。また風は時として風となり或いはそよわやかな薫風を呼んで組合員にのぞむであろうことを頭にえがいて「旗風」を推賞した。尚候件としても困難でないと思うと語つた。

いざ出動　愛称をもらつて
颯爽たる「はたかぜ」

二月中の行事豫定

各支部二月中の行事予定次の通り

△三川
二月一日＝十七日＝柔剣選抜稽古
二十六日＝二十九日＝スケエテダンス講習
△四山
二十四日＝蹴球大会（オープン）
二十五日、二十七日＝母の会
二十四日＝卓、将、蹴球大会
二十四日＝俳句会
毎週火、金＝謡曲練習

お待兼の巡回映画

ニュースカー「はたかぜ」号で鉱組が送る巡回映画の番組と日程が次のように決定した。

映画は「長崎の鐘」巡回「魔法のペン」ニュース、文化映画「機械体操」

十五日　三作　午六日　本所
十七日　三作　手鍋〃
十八日　三作　上内〃
十九日　三作　息永〃
二十日　三川　三池〃
廿一日　三作　平井〃
廿二日　三作　稲中学校
廿三日　四山　苦鳥第一
十一日＝十七日＝柔剣選抜稽古
十六日＝長崎巡回大会
△本所
十九日＝二十五日＝簡部内ソフトボール大会
毎月曜日＝柔剣選抜稽古
毎週火、木＝蹴球練習
毎週火、水＝唱歌練習
月一回＝俳句会

全額拂い戻し

昨年の年末調整によう年に決定した過納分に対しては既に会社から借用する事によつて実施されているが、充当分（黒字分）については、その後各月分税金に充当しているが、今回左記該当者は二月十五日拂給料で二箇税金拂戻しを行う

記

1、今後収入がないと考へられる者（長期公私傷及長期欠勤者）
2、今後税金のかからぬ見込しの者（扶養家族数の増員等）
3、一月以降三月分見込税額を超過する者

三川坑の寒稽古

三川坑では恒例により二月十一日から柔道及竹刀（剣道）の寒稽古を行うことになつた。柔道、剣士の親睦の社会は十七日開くことになつている。

廿五日　四山　有明〃
廿六日　宮浦　玉川〃
廿七日　四山　八幡〃
廿八日　宮浦　鹿木〃
尚屋は分院殺岡の予定

選挙当等一名車

繁敏　井　松　港　三

平和の旗風、闘争の旗風、そして躍進のシンボル。そうした意味で私は三鉱労組ニュースカに「はたかぜ」と名づけた。はたかぜと云えば、大自然の旗風の下に強い魅力の人命が失われていつたあの戦争を連想させるような感を持つているが、この「はたかぜ」は組合員に家族と組合を愛しかけはしとして、厳く全三池を駆けめぐり、或時は本通不便な田舎まで出かけていつて、私達組合の立場を眼べ、又或時は映写会を開いたり或時は楽しい音楽を聞かせたりして、厳く深い組合運動を推進していつて貰いたいと念願する。

青年部員が如何に組合運動を推し進める上に大切であるかは今青年部員を更しないが、「はたかぜ」は組合に有利なこと、不利な事を問わず真実の姿を然る早く私達の前にさらけ出して呉しい。

闘いの火を燃し續けよ

世論は民衆間の方へ傾きつつある。現状のもとに吉田内閣が発表した防衛隊の次に来るものは侵略隊であることを容易に想像させる。たつた二千億の円の防衛隊費は原価に換ちすると大見得切つたあの予算編成、もはや寒なる程度閣僚だけでは労働者の生存権すらも満足に与えられようとする時「はたかぜ」はそうした反動の風に抗して、三鉱労組の大理想、徹底なき社会主義社会建設の為に、絶えず平和の火を燃やしつづけて貰いたいものである。

平和の旗風、闘争の旗風よ意頭峠に終らず何時までもほのぼのとした闘いの火を絶やさずに前進せよ。

技能教習所新入生募集

今年度三池炭鉱技能教習所新入生が次の要領で募集される事になつた。

△募集予定人員
採鉱科　七〇名、機械科　二五名、電気科二五名
△應募資格
1、本年三月中学校卒業見込の者
2、徒歩通学可能な者
3、当所卒業後坑内就業の意固な意志を有する者
4、性行善良身体強健にして学力優れた者
5、三池炭鉱に縁故ある者
註　縁故の範囲
(1)　現在職者三等親迄
(2)　停年退職者、公傷退職者
(3)　公傷死亡者二等親まで
△入所願書環提出期間
二月五日（火）より二月十五日（金）まで
△応募手続
1、願書類は当所各部の用紙の交付を受け各中学校毎一括して締切まで申込のこと
2、差出すべき書類
イ、入所願及縁故証明書
入所願は志願者自身で記入し縁故証明は関係各鉱所人事係長に依頼のこと
ロ、報告書
出身学校長に依頼し調査とすること。
3、入所志願者受験（受験者番号）入所願類を受理した時交附する
△入所許考期日及方法
第一次（二月十七日）（日）八時より）学科試験（考査科三池南校
第二次（二月二十日（水）八時より）